

事務事業名	小学校学校排水管理事業				担当	教育委員会 学校教育課 施設係			
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり				電話番号	0285-83-8182		
施策名	2	小・中学校の教育の充実				<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業			
基本事業名					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ			
法令根拠	学校教育法第5条真岡市立学校の設置及び管理に関する条例第3条水質汚濁防止法他					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 S52年度～）			
予算科目	1.一般会計	10.教育費	2小学校費	1学校管理費	<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）				
事業概要	し尿浄化槽は亀山小、大内中央小、大内東小、大内西小、山前小、山前南小、西田井小、中村小、中村東小、中村南小、長沼小の11校に設置されている。亀山小、大内東小、大内西小、山前南小、西田井小、中村東小の排水先は土地改良区管理の用排水路となっている。学校排水水については、し尿浄化槽の維持管理を行い環境保全に努めている。排水水の検査項目は、水素イオン濃度・浮遊物質量・生物化学的酸素要求量・化学的酸素要求量・窒素含有量・りん含有量・大腸菌群数である。								

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 23年度実績 ・浄化槽は専門業者に保守点検、清掃を委託 ・し尿浄化槽からの排水の水質検査 ・土地改良区への負担金  24年度計画 前年度と同じ	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移								
	名称		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
	ア	し尿浄化槽を使用している学校数	校	10	11	11	11	11	
	イ	保守点検回数	回	60	66	66	66	66	
	ウ	水質検査回数	回	16	18	18	18	18	
エ									
オ									
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 ・放流先の用排水路 ・学校浄化槽	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移								
	名称		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
	ア	用排水路	箇所	8	9	9	9	9	
	イ	浄化槽数	箇所	15	16	16	16	16	
	ウ								
エ									
オ									
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） ・排水施設の適正な管理、用排水路の水質保全	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移								
	名称		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
	ア	水質汚濁防止法等による規定値内の項目数	項目	26	26	26	26	26	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） ・流入する河川の水質保全	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移								
	名称		単位	20年度(実績)	21年度(実績)	22年度(実績)	23年度(実績)	24年度(見込)	
	ア	排水水の基準値内水質の割合	%	100	100	100	100	100	
	イ								
	ウ								
エ									
オ									
(2) 総事業費の推移									
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	3,468	3,361	3,144	3,178	0
	事業費計(A)			千円	3,468	3,361	3,144	3,178	0
	人件費	正規職員従事人数	人	2	3	3	4	0	
		延べ業務時間	時間	80	88	84	88	0	
		人件費計(B)	千円	334	357	359	373	0	
		トータルコスト(A)+(B)	千円	3,802	3,718	3,503	3,551	0	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等

①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	下水道処理区域外での小学校の設置や施設の増設等で、学校からの排水を用排水路に接続するため。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	排水水の水質の基準値以下の確保及び検査結果の公開(用水管理者)
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	公共下水道及び農村集落排水事業の推進によって、処理区域内に含まれた学校については、すみやかに下水道に接続替えを行っている。環境保全の関心がたかまっている。

2. 1次評価の部 \*原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 良好な生活環境保全施策に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 良好な生活環境の保持は、市の責務である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 用排水路、浄化槽が対象であり、適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 基準値以下の良好な水質が維持されている。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 排水水の悪化による環境汚染のおそれがある。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？  ・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない  <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある し尿浄化槽からの排水の良好な水質の確保をするための、最小限の経費である。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 業務委託費等の支払い事務のみであり、これ以上の削減は出来ない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 学校教育法第5条の規程により、受益者が負担するものではない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し( <input type="checkbox"/> :目的妥当性 <input type="checkbox"/> :有効性 <input type="checkbox"/> :効率性 <input type="checkbox"/> :公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							